

問2 下線部①について、次の＜資料1＞は平安時代のある女性の日記の一部を現代語に訳したものです。これを読んで、あとの設問に答えなさい。

＜資料1＞ 天皇の御殿 宮城の中心

中宮様ちゅうぐうが内裏だいりへお帰りになる日が近づき、女房にようぼうたちはその準備続きで慌ただしいというのに、中宮様はご本作りをなさるといのです。そこで世が明けると真っ先に中宮様と差し向かいで作業にあたりました。色とりどりの紙を選び整え、物語の原稿を添えて、清書の依頼状と共にあちこちに配りました。一方では、清書の終わった分をとじ集め、整理するのを仕事にして、夜を明かして過ごしました。

「一体どんな子持ちの女性が、寒いのに、こんなことをなさるのか」

と殿はおっしゃりながらも、上質の薄紙、筆、墨、硯まで持参して応援してくださいました。

(1) 中宮様とは一条天皇の後である彰子きさきのことです。彰子に仕え、この日記を記した女性が書いた、長編の物語しょうしの名を漢字で答えなさい。

源氏物語

(2) 資料中の「殿」は、彰子の父です。彰子の父はやがて藤原氏の全盛を築き、摂政や太政大臣となりました。彰子の父の名を漢字で答えなさい。

藤原道長